

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

群馬県 昭和村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	68.02	29.48	100.00	2,530

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,938	64.14	108.17
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,035	0.15	13,566.67

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	令和6年度全国平均

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- 物価高騰対策で料金の減免をしたことにより、料金収入は減額し、100%を上回っているが、今後も健全な経営を続けていくための努力をしたい。
- 累積欠損金は発生していない。
- 全国平均及び類似団体平均の数値を下回る低い水準であるので、将来的には使用料体系の見直しを行っていく必要がある。
- 企業債残高対事業規模比率について、企業債償還金は一般会計からの繰入金で全額を賄っているため、0%である。
- 一般会計からの繰入金の算入もしているものの類似団体平均よりも低い水準となっているため料金設定も視野に引き続き検討していくたい。
- 類似団体等の平均を下回っている状態であるため、更なる効率的な汚水処理実務に努める。
- 施設利用率は、本事業では5人槽から10人槽の整備を行っており、小家族化、高齢化の影響から施設の処理能力よりも使用者の数が減少し、利用率は今後は低下することが想定される。
- 水洗化率は、類似団体平均値よりやや高くなっているが、人口の減少や高齢者世帯の増加により今後の増加は見込まれず、頭打ちの状況となっている。特に高齢者のみの世帯では経済的負担を伴うため困難な場合が多いと思われる。

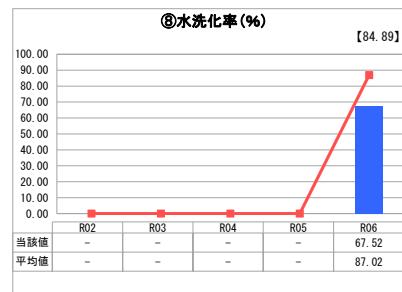
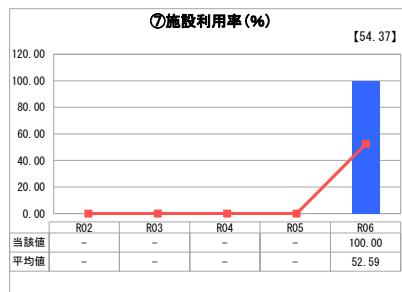
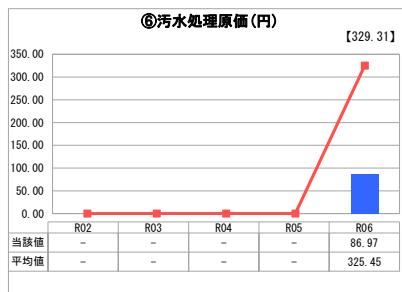
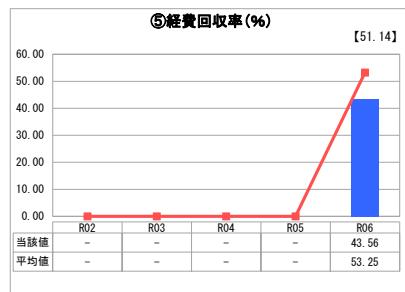
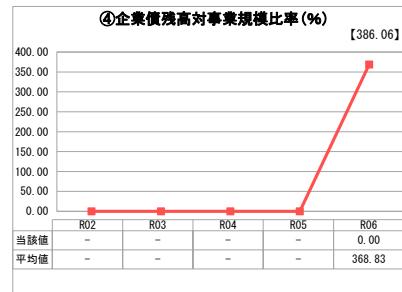
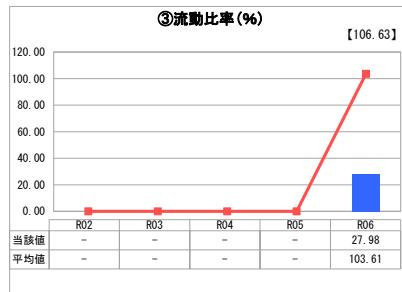
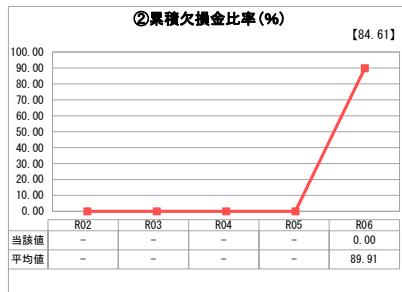
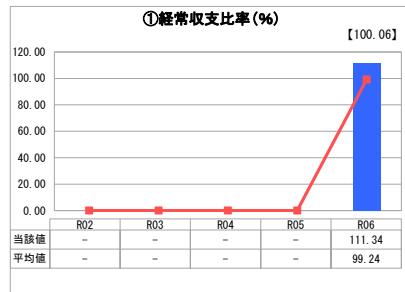
### 2. 老朽化の状況について

- 法適化初年度のため、低い水準となっているが、計画的な施設更新を図って行く必要がある。
- ②・③は該当なし。

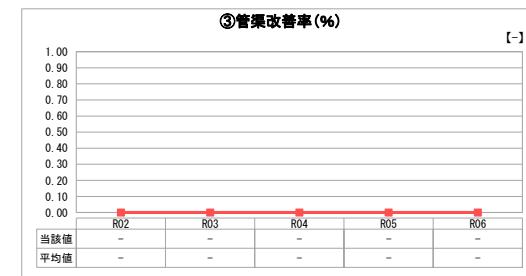
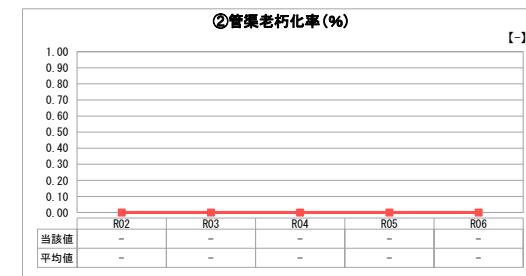
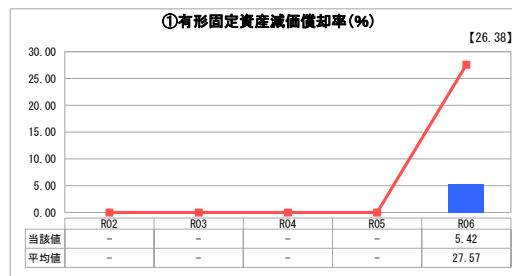
## 全体総括

現在、村では市町村設置型の浄化槽を43基設置しているが、設置してから10年以上が経過している浄化槽が多く存在する。そのため、適切な管理を行うとともに、計画的な更新を視野に入れ検討していく必要がある。

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



\* 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。